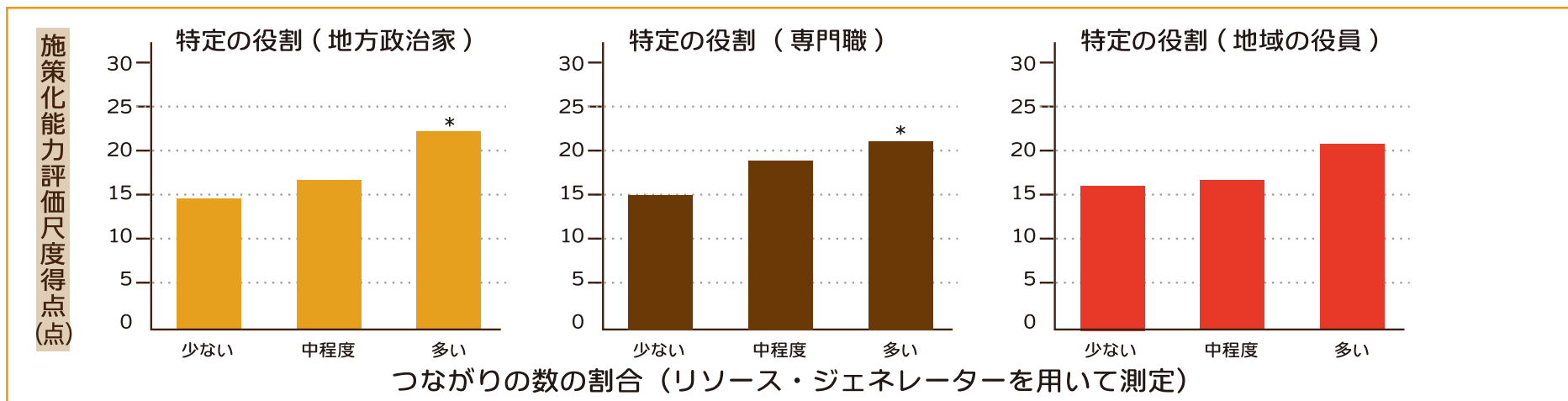
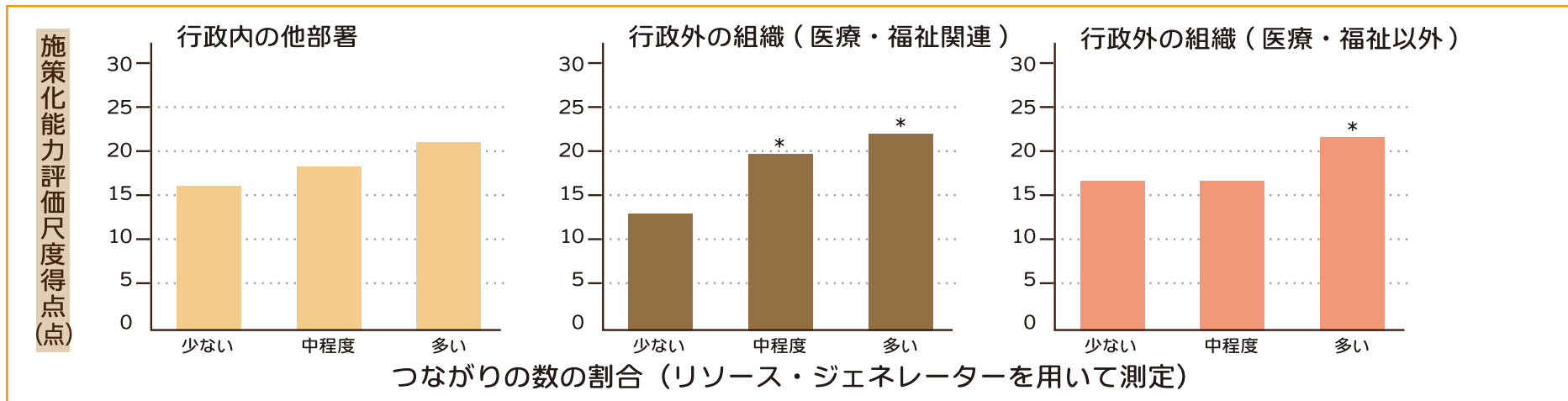


# 医療・福祉関連：一定のやりとりがあると、得点が有意に高い それ以外の組織、地方政治家：相対的にやりとりが多いと得点が有意に高い

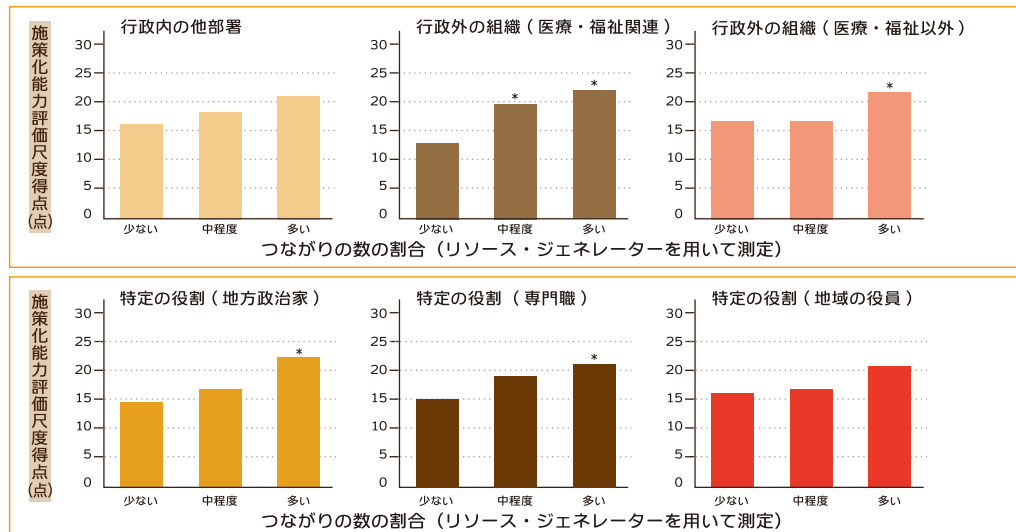


\* : p<0.05

長谷田真帆（東京大学大学院）氏より提供

# ◆スライド解説

**医療・福祉関連**：一定のやりとりがあると、得点が有意に高い  
**それ以外の組織、地方政治家**：相対的にやりとりが多いと得点が有意に高い



\*:  $p < 0.05$   
 長谷田真帆 (東京大学大学院) 氏より提供

## 解説

- JAGES 調査に参加された自治体の職員にアンケート調査を行った結果。
- 多職種・多機関と連携をしている行政職員ほど、地域の健康水準を高めるための社会資源を開発し、システム化・施策化する能力（施策化能力）が高い傾向あり。
- 具体的には、「行政内の他部署」「行政外の組織（医療・福祉関連）」「行政外の組織（医療・福祉以外）」でつながりのある人が多い行政職員ほど、施策化能力評価得点が有意に高い傾向にある。同様に、「地方政治家」「専門職」「地域の役員」についても、それらの知り合いが多い人ほど施策化能力評価得点が有意に高い。
- 多職種・多機関と連携することで専門職の能力向上につながる可能性を示唆する結果といえる。

